

1Day プログラム(フィールドワークあり)

「働くこと」と「子育てをすること」の両立を体験的に学び、1Day プログラム(対面、フィールドワーク)を開催しました。

日程:①8/8(火) ②8/23(水)

時間: 研修 12:30~16:00 フィールドワーク 17:30~20:30 頃

内容:【研修】

イントロ(プログラムについて)

京都府の子育て施策・フィールドワークに伺うご家庭について

自己紹介ワーク

両立家庭ってどんなイメージ?(動画ワーク)

10年後のなりたい姿ワーク

子どもとの関わり・ご家庭での注意点について

フィールドワークに向けた作戦会議

振り返り・アンケート

【フィールドワーク】

最寄り駅などでご家庭と待ち合わせ

保育園等へのお迎え

お子さんと遊ぶ

晩御飯サポート

ヒアリング

参加者:

	参加人数	大学	性別	学年	協力家庭数
①8/8	9名	京都産業大・京都女子大・同志社女子大	女性9名	2年(3名) 3年(6名)	5家庭
②8/23	6名	京都ノートルダム女子大・同志社大・福知山公立大・龍谷大・滋賀県立大	女性5名 男性1名	2年(1名) 3年(5名)	4家庭

研修風景



フィールドワーク(両立家庭を疑似体験)



<研修の感想>

- ・将来の自分や、仕事と育児を両立するイメージがわいた。
- ・ただ話を聞くだけでなく、自己紹介やグループワークがあり、自分の意見を言ったり他の人の意見を聞いたりして楽しく参加できた。
- ・今まで将来のビジョンが全く思い浮かばなかったが、研修を経てマイナスな気持ちからプラスの気持ちに切り替えることができた。
- ・交流をすることでより考えが深まった。仕事と育児を両立するということは大変で難しいと思っていたが、それぞれの家庭の動画を見て、夫婦間での工夫や子どもの姿など実際の様子を知ることができてよかった。
- ・和やかで話しやすい雰囲気だったので、たくさんの価値観に触れられた。
- ・他大学の学生といろんな価値観を共有したり、同じような不安を抱えていたりなどを知ることができたので、不明瞭すぎて焦っていた将来のビジョンについて少し具体的なイメージにすることができた。
- ・自分の見てきた家庭とは全く異なる温かい家庭を動画でみることで、将来は温かくコミュニケーションをたくさんとれる家庭を作っていきたいと思った。

<フィールドワーク後の感想>

・子どもを産む、仕事をあきらめるではない。女性が育休を取るのは当たり前になってきているが、男性はまだまだ取りづらい。男性も家事や育児しているのに仕事もバリバリするのって大変だ。私のイメージでは女性の方が損をしているイメージだった。しかし男性にも悩みや抗えないことがあることを知った。

・子どもたちの「大好き」や「笑顔」が癒しでがんばる源になっていることが印象的で心に刺さった。やっぱり1人だと辛い時やふんばらないといけない時でも、まあいいかとくじけて辞めてしまいそうになることがあるけど、子どもたちの笑顔、守るべき人がいるからふんばれる、「明日からも頑張ろう」ってなれる、お母さんを強くしてるんだなと感じた。周りから見て気にならないことでも、親にとったら一つ一つが子どもの個性であり一つ一つの行動が成長であるんだなと感じた。「親にしか気づけないこともたくさんあるな」「親って最強だな」と思った。

・考え方や価値観を詳しく教えていただけたことがとても印象に残った。特に子育ての上で1割の幸せと9割のしんどさがあるとおっしゃっていて、その1割と9割は同じ比率になっていると知り、やはり子供は愛しい存在なのだと再確認することができた。その日怒っていても寝る前に笑顔を見たりすると「もーいいや！って許しちゃう」とおっしゃっていたことがとても印象に残った。子供という存在はとても大きく、大事なのだとわかった。